

需要の拡大が期待できる分野であって、かつ、当社グループの強みを発揮できる分野を特定し、それら分野に当社の総力を結集

当社は電線・電子材料関連のフロンティアを開拓して、独創的な先端部品・素材を供給するニッチトップのサプライヤーとなることを目指すために、特に市場の拡大が期待される機能性ペースト分野および医療機器関連部材分野においては積極的な投資を実行して成長を追求し、その他の既存事業分野においては効率化投資の推進、顧客ニーズに沿った製品群の拡充等により回収利益の最大化を追求することを基本とします。

2025 長期ビジョン概要

定性的な目指す姿

当社は、電線・電子材料関連のフロンティアを開拓し、ニッチトップのサプライヤーとなり、独創的な先端部品・素材を供給する。

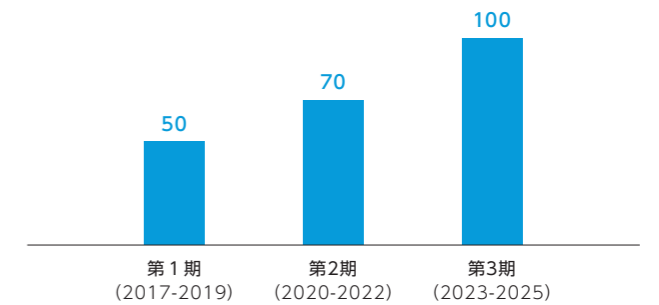
定量的な目指す姿

高い収益率を維持しつつ、現状の1桁上の規模(2025年度売上高1,000億円、営業利益100億円)を併せ持つ企業集団となる。

目標営業利益

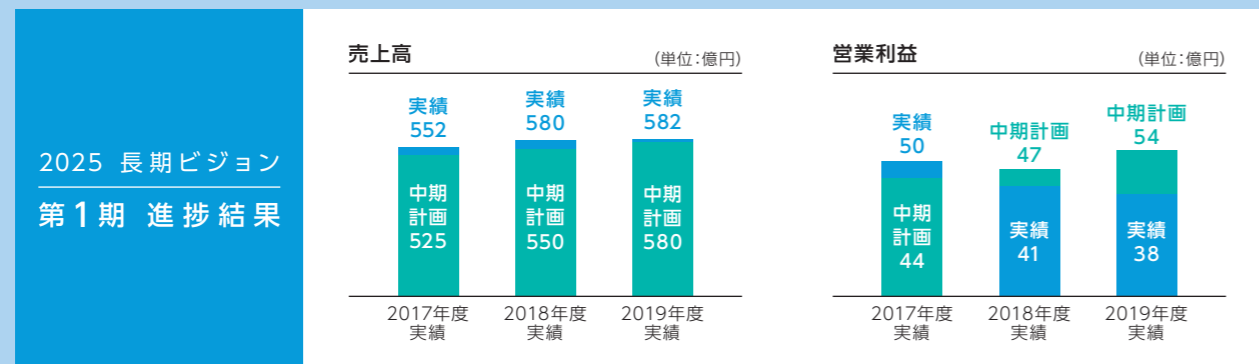
(単位:億円)

※ 数字は各期最終年度目標額



2025 長期ビジョン 第1期 進捗結果と 第2期 方針	2025に向けたロードマップ			
	期 間	第1期 (2017-2019)	第2期 (2020-2022)	第3期 (2023-2025)
	課 題	基盤整備期間	新製品量産化期間	新製品増産収益貢献期間
	投融资枠	3年間 210 億円 (うち留保枠 120 億円)	3年間 240 億円 (うち留保枠 120 億円)	3年間 280 億円 (うち留保枠 120 億円)
	目標営業利益	19年度 50 億円	22年度 70 億円	25年度 100 億円

(注) 留保枠：長期ビジョンで設定した M&A を含む戦略投資のための投資余裕枠。BS の健全性を損なわない範囲のものとして、2017～2025 年度 (9 年間) を対象期間に設定。



2025 長期ビジョン 第2期 基本方針	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し 従業員・社会の安全を確保するとともに、お客様への供給責任を果たす。	
	利益追求事業	販売量の維持・拡大、品種構成の改善、生産効率化による収益最大化を図る。
	成長追求事業	長期ビジョン第3期における新製品の増産・収益貢献に備え、第1期における新製品開発の遅れをキャッチアップし、新製品の上市・量産化を実現する。
	中長期育成事業	本格的に販売を立ち上げ、第3期における事業拡大に備える。

2025 長期ビジョン

事業展開			
利益追求事業	電線・ケーブル事業	通信電線事業、機器用電線事業 (国内)	効率化投資の推進、顧客ニーズに沿った製品群の拡充等により回収利益の最大化を追求する。
	電子材料事業	機能性フィルム事業、ファインワイヤ事業	
	その他事業	センサー事業、環境分析事業	
成長追求事業	電子材料事業	機能性ペースト事業	積極的な事業開発投資、増産投資等により規模・利益の拡大を追求する。
	その他事業	医療機器部材事業	
中長期育成事業	電線・ケーブル事業	機器用電線事業 (海外)	将来的な規模・利益の拡大を目指し当面は事業基盤整備に注力する。

2025 当社のありたい姿

IoT やロボット、車載機器、医療機器などの分野においては、電線や電子材料などの部品・素材に対するニーズが細分化しつつ、高度化

定性的なありたい姿

電線と電子材料、また、それらに関連する部品・素材事業分野において、グローバルに事業を展開し、特に、ニーズが細分化・高度化しつつ拡大するIoTやロボット、車載機器、医療機器向けなどのフロンティアを開拓し、複数の先端領域商品 (Advanced & Niche) でトップシェアサプライヤーとなり、顧客から信頼されている企業集団。

定量的な姿

高い収益率を維持しつつ、現状の1桁上の規模を併せ持つ企業集団。

2025 目標	
売上高	1,000億円以上
営業利益	100億円以上